

<新食品・栄養科学シリーズ>『応用栄養学（第4版）』

章末練習問題 解説

5章

- (4) ① 体重あたりの体表面積が大きく不感蒸泄量が多い ② 尿濃縮率が低く体重あたりの尿量が多い.
- (6) p.3 のマージン参照.
- (7) ① 胃の噴門部の括約筋が未熟なため. ② 胃の形状が成人と異なり, 直立に近い形をしているため.
- (10) 0.78 L/日
- (19) 哺乳反射による動きが少なくなってくる生後5か月頃を目安とする.
- (22) 出生直後に溶血が亢進し, 遊離したヘモグロビンから細網内皮系で間接ビリルビンが生じ, その速度に肝臓のビリルビン抱合速度が対応できないために生理的に起こる.
- (24) バーカー説が発展し「健康と疾病の素因は受精時から乳幼児期に決定される」という説.

9章

- (6) p. 144～146 参照.
- (21) p. 160～161 参照.